

第45回 東海村健康づくり計画推進委員会 書面協議結果報告

【結論】

第45回東海村健康づくり計画推進委員会については、新型コロナウイルス感染症拡大により、まん延防止重点措置期間が延長となったことにより、書面協議として開催した。

健康づくり推進委員18名中17名から意見書の提出があり、議題について全員から承認を得たため、協議事項については決定とみなした。意見書の内容について報告する。

【会議開催予定日】 令和4年2月22日（火）→ 書面協議に変更

【意見書提出〆切日】 令和4年3月6日（水）

【書面配布及び意見提出者】◎：委員長 ○：副委員長（順不同、敬称略）

◎佐藤 栄子, ○山崎 松夫, 田所 則夫, 大内 直子, 平野 紀夫, 寺門 松恵, 齋藤 周三, 篠崎 典子, 石丸 美代子, 佐藤 佳代子, 工藤 孝子, 平田 文枝, 渡辺 りつ子, 江坂 木の実, 大本 俊子（ひたちなか保健所）, 櫻井 文雄（村立東海病院）, 吉成 亘弘（東海村社会福祉協議会）

【書面配布者】（順不同、敬称略）

- ・委員 富山 大智
- ・関係課職員 大内 剛史（農業政策課）, 山口 正弘（福祉総務課）, 川上 多恵子（高齢福祉課）, 佐藤 美佳（子育て支援課）, 佐々木 菜津希（学校教育課）, 物井 聡（生涯学習課）

【書面協議結果と委員からの意見】

1 令和3年度東海村健康づくり計画推進状況及びすこやか委員の活動について（報告）

【委員からの意見】

- ・コロナ渦であったが、充分実績があったと思った。
- ・多くのイベントで参加者が多く、村民の健康に対する意識が感じられた。継続しての取り組みを期待する。病院職員の派遣対応を協力していきたい。
- ・コロナで中止になった事業も多くあったが、すこやかウォーキングでは、感染対策をとりながら計画の半分が実施できたことはよかった。
- ・委員の一人として、すこやかウォーキングの認知度が50%ほどあがるようにしていきたい。
- ・減塩の取り組みについては、特に高齢者に対して、地区自治会の広報誌、高齢者クラブの広報誌などに啓発記事等を載せるのも一案かと思う。また、各地区自治会、単位自治会等の出前講座なども可能かもしれない。
- ・健康寿命を延ばすため、「減塩の取り組み」と心身の機能を維持改善するのに「みんなですこやかウォーキング」を多くの方に参加していただき、みんなで楽しみたい
- ・すこやかウォーキング、ウォーキングコースの見直しに参加したが、フィールドワークによって変えたコースや名前はよく考えられていると思う。
- ・P5シルバーリハビリ体操指導士会の活動回数とP17シルバーリハビリ体操指導士会の活動回数が異なっている。⇒（事務局から）「127回実施」に訂正させていただきます。

・今年度は、コロナのため、活動やイベントが中止となったものもあり、残念であったが、これからも健康寿命の延伸と健幸感の向上のために勉強していきたい。

2 令和4年度東海村健康づくり計画重点目標の推進スケジュール及び令和4年度みんなですこやかウォーキング日程について（案）

【事務局から】

過半数以上の17名より承認を得、決定とさせていただいた。御意見を基に、今後も皆様と健康づくりを推進していきたい。今後とも御協力をお願いしたい。

【委員からの意見】

・「ロコモティブシンドローム」という言葉を初めて聞き、興味がある。普及啓発をお願いしたい。

・すこやかウォーキングについて、春一番、年度初め、門出を踏まえると「白方桜薫る田園コース」を4月に設定したのは良かったと思う。

・R4年度の重点目標は、食生活改善推進員としても役割が大きい。協議会としては、減塩料理を中心に取り組んでいく。

・ウォーキングの参加は誰でも一人でも大丈夫だと知ってほしい。

・第3次東海村健康づくり計画概要版がとてもきれいで見やすく、分かりやすい良いパンフレットだと思った。多くの方に手に取ってほしい。